

第20回大会テーマ

未来へつなぐ真に豊かな生活づくりの共生環境デザイン
—地域・次世代と考えるアジア文化の継承と発展—

高校生の発表プログラム 要項

開催日時	令和8年12月5日(土) 午後1時から午後4時50分まで		
開催場所	千葉県立木更津東高等学校 講堂 住所：千葉県木更津市木更津2-2-45		
時 程	午後 0時30分～	1時00分	高校生発表受付 (場所：正面玄関前)
	午後 1時00分～	2時30分	開会式 (場所：講堂)
	午後 2時40分～	3時40分	研究発表第1部
	午後 3時50分～	4時50分	研究発表第2部
	研究発表第1部・第2部とも口頭発表による方法とします。 (高校生セッション・1ブース設けます)		

主催：アジアデザイン文化学会

後援：千葉県教育委員会・木更津市・木更津市教育委員会

アジアデザイン文化学会 (20th ADCS in Kisarazu, Chiba) メールアドレス

e-mail: adcs2026kisa@gmail.com

1 発表者

日本国内の高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒とします。

2 発表内容

「総合的な探究の時間」や「課題研究」や「部活動」や「主体的なグループ活動」で実施した探究活動に関わる内容とします。具体的なテーマは下記のとおりです。

高校生部門の発表テーマ：地域課題の解決、まちづくりデザイン、ものづくり、地域と協働した活動に関する実践報告

発表を行った高校生団体には、アジアデザイン文化学会の総会長名による、学会賞を授与します。

3 発表エントリー

高校生部門：学会ホームページを通して最大 8 枠を募集する。

（同一校からの応募は最大 2 作品までとする。応募多数の場合は、審査による）

※学会ホームページに記載の問合せ先メールに問合せのあったところに、専用の申し込みフォーマットを送付します。また、発表概要については、学会の概要集ではなくプログラムの巻末に載せます。

募集期間：令和 8 年 8 月 1 7 日（月）～ 1 0 月 2 3 日（金）期日厳守

4 発表方法

発表する団体は下記の方法で発表を行うこと。

- （1）発表方法は口頭発表によります。また、1 団体の発表は個人またはグループとします（1 グループの人数は、5 名程度までとします）。
- （2）発表時間は口頭発表 1 0 分以内とし、質疑応答と次の発表者との引継時間を含め 5 分の計 1 5 分とします。
- （3）発表方法はスライド資料（パワーポイントまたは P D F）を使用すること。なお、発表に使用するコンピュータは発表者が準備し操作すること。また、音声やインターネットの活用は可としますが、インターネット回線については、発表者が準備すること。
- （4）視聴覚機器についてはプロジェクタの準備があります。コンピュータとの接続は H D M I を使用してください。（H D M I ケーブルの準備はありませんが、予備用として発表者も御持参ください）
- （5）発表順番と発表スペースについては、学会事務局で決定します。

5 発表資料の事前提出

最大発表数8枠を超えた場合には、事前審査を行います。

その結果を令和8年10月30日（金）までに、連絡先代表者のメールアドレスに審査結果を通知します。

審査結果により、当日の発表に進む団体は下記のスケジュールで発表資料の事前提出をお願いします。なお、提出期限に間に合わない場合には、事前に相談してください。

（1）提出期限 令和8年11月20日（金）午後8時まで

（2）提出データの送付先（下記のアドレスに提出してください）

ただし、メールのタイトルを**高校生発表概要（高校名、団体名）**としてメールで提出してください。

提出先アドレス	adcs2026kisa@gmail.com
---------	------------------------

6 会場までに交通手段について

公共交通機関を利用してください。なお、やむを得ない事情により自家用車を使用する場合には、事前に大会事務局まで御相談ください。

7 その他

（1）当日取材等について

報道機関による取材が行われる場合があります。また、発表の様子を撮影した写真等を学会の報告書等に用いたり、学会ホームページに公開します。については、参加団体校は、参加者に承諾を得た上で申し込んで下さい。

（2）食事について

食事については提供しません。各自で用意してください。指定場所以外の飲食は禁止とします。

参加費について

事前審査により令和8年12月5日（土）の発表を行う高校生団体は、大会参加費をお支払いいただきます。

高校生団体（1発表につき）：¥1,000

お支払方法：当日、受付にて、現金でお支払いください。

その際に領収証をお渡しいたします。

「アジアデザイン文化学会」設立趣旨
—豊かな生活づくりの継承と発展のために—

今日の私たちは、人類の歴史のなかでも最も発達・発展したといわれる文明社会のなかに生きています。しかし、発達・発展とは何なのでしょう。

モンスーン気候の風土のなかで脈々と築き上げられてきたアジアの国々・地域の生活様式には、多様ななかにも、多くの共通点があります。特に地域の個性を活かした生活づくりデザインを実践してきた先人たちが蓄積してきた知識・経験には、多様性に富みながらも、多くの共通点がみられます。その軌跡である歴史を紐解き、そして、現在を理解し、未来に向けた生活づくりデザインのあり方を探求することは、喫緊の課題といえます。すなわち、「われわれはどこから来たのか、今どこに立っているのか、そして、どこに歩もうとしているのか」を問う「人心の華」のデザイン理念を基底に据えて、地域の個性を尊重し、地域の貴重な資源の適切な活用に基づいて、私たちは生活づくりデザインの実践をしていかなければならないと考えます。私たちは、そのことにより、真に豊かな発達・発展がもたらされると考えます。また、アジアの多くの国々・地域は、「もったいない、もうしわけない」という生活信条を共有しています。そこには、自然を尊い存在と意識し、「自然と共に生きていこう」とする理念が潜んでいます。これは、グローバリゼーションのなかで普遍化されがちな「人間が自然を管理する」理念とは大きく異なるものです。自然を管理の対象と位置づけるのではなく、「自然との共生」を基底に据えて展開されてきたアジアの国々・地域における生活づくりデザインの知識・経験は、「持続する環境」を育み、「豊かな社会」を目指す私たちにとって、いまや、世界にも誇れる、大きな資産となっているはずです。このことは、それぞれの地域（ローカル）が育んできた生活づくりデザインが、今日の世界（グローバル）が抱えているさまざまな課題の解決に大きな示唆をもたらす確かな可能性を有していることを意味しています。こうして、「ローカル」と「グローバル」の概念融合である「グローカル」という新しい言葉が、21 世紀における生活づくりデザインにおいて、実践的価値を持ち始めています。私たちのアジアの国々・地域においては、それぞれの国々・地域の民が蓄積してきた知識・経験を活かし、今日・明日の生活づくりを目指し実践するデザイナー・教育者・研究者・行政担当者が数多く存在しています。また、そのような有為の人材を育てる教育機関や研究施設が、私たちのアジアの国々・地域では拡充されてきています。同時に、その理念・概念に準拠する有為な人材が活躍する場も、確実に、拡大しつつあります。

私たちは、上記の理念と目的を持った人びとが、日ごろの思考・実践を互いに交換し、学術的、かつ、実践的に切磋琢磨する「集まりの場」を持つ意義は高いと考え、ここに、「アジアデザイン文化学会」を設立いたします。

私たちは、この「アジアデザイン文化学会」を通し、活発な交流をはかり、効果的に、情報・知識・経験を共有し、活用していくことができれば、必ずや、アジアの、ひいては、世界の、「豊かな社会」の形成に大きく貢献できると確信いたします。

アジアデザイン文化学会

総会長 宮 崎 清

中国支部会長：張福昌

韓国支部会長：朴燦一

台湾支部会長：黄世輝

日本支部会長：宮崎清

インドネシア支部会長：dudywiyancoko

ヴァングラディシュ支部会長：masumiqbal